

第2回そだつ部会会議録

日 時	2014年5月20日(火) 10:00~12:00
場 所	地域連携交流施設
出 席 者	古場、林、高津、安川、内海、成松、近野、浅原、西山、日野、政本、長倉、山口、
テ ー マ	1. 協議課題 2. その他 3. 次回開催日の調整
内 容	<p>1、協議課題</p> <p>○「かけはし書き方教室」当日の参加者及び進行確認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日9時半集合 参加者の人数で班分けをする <p>○かけはし見直し 改編作業の検討</p> <p>はまなす「かけはし」アンケート結果のまとめ</p> <p>「かけはし書き方教室」には平均2回ぐらい参加している</p> <p>「書きにくい」という意見が多い</p> <p>何を書いていいのかわからない</p> <p>見本・障害別指針がほしい</p> <p>学校などに提出などがあれば、書きやすい</p> <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体・重度・情緒知的・高機能系版を作ったほうがいい ・家では問題意識がなく、学校の先生と一緒にいろいろな問題が書けるのではないか ・かけはしは書くことが目的ではなく、学校などとのコミュニケーションのツールである ・「親の交流会が目的のように思う」となっているのは、運営のあり方に問題があって支援者がマンツーマンで書いていく事が必要ではないか ・学校・人とのトラブルを書けるようにした方がいいのではないか ・入院・手術が多い人は、医療系の項目を増やして欲しい ・障害別に分けると、我が子はどこを書けばいいかわからなくなる ・書ける部分は「かけはし」で書いてみて、書けない部分は自分で考えていったらいいのではないか ・項目があると、全部を記入しなければと思ってしまう。記入できない部分で止まってしまっていて、以後記入ができなくなる ・書けないと言われている方に改編のメンバーになってみてもらってはどうか ・オリジナルの物を作っている人がいて、「かけはし」は必要ないと言っている ・かけはしを書くことが目的でなく、「かけはし書き方教室」はコミュニケーションツールとしての見本になっていけばいいのではないか ・入学前などにどういった情報が欲しいのか分かれば、「かけはし」を書く気になるのではないか ・どこまでの記入を求められているのかわからないので、マンツーマンなどで「困っている事」などを書くことの練習が必要ではないか ・チラシの中に「かけはし」の目的などを書いてアピールが必要ではないか ・「書くことが苦手の方のお手伝いします」などのアピールもいいのではないか ・必要性があれば書く気になるので、いろいろな場面で「かけはし」の名前を発信してもらおうようにしてはどうか <p>⇒役場・学校・事業所など</p>

- ・学年末に学校で子どものことを来年度の先生に伝えてもらうツールとして、「かけはし」の活用術などを教えてもらえるといいのではないか
- ・どこか他市町で、「かけはし」のようなものを活用しているところをさがしてみてもどうか
- ・成長の過程で書く書類を資料として集めてみるかどうか
⇒すこやか環境グループ・教育委員会・東はりま特別支援学校
- ・アンケートの内容に、項目が多すぎるや身体版があったほうがいいなど今日の会議でできたことを入れたほうがいい

○余暇活動について

社会福祉協議会より説明

のびのびはりま 8月（お盆明け）に自動車学校での交通講習会開催決定
受け入れ人数は50名。昨年は40数名参加した。

中学生を受け入れるとなっても、4～5名程度しか受け入れが出来ない

6月末から7月ぐらいにならないと、人数の確定はできない

現地集合も可能 昨年は送迎バス利用

今のところは、福祉しあわせセンターでバスに乗って行くことを計画している

意見

- ・のびのびはりまの人数が決まり次第、空きの人数で、先着順に募集する。

2、その他

○全体会：平成26年7月11日（金）10：45～12：15 播磨町役場ABC会議室

「播磨町はそだちやすい!?くらしやすい!?はたらきやすい!？」

～地域診断を踏まえ、私たちそれぞれができること～

講師：社会福祉法人 岩崎学園 理事長 松下直弘氏

○くらす部会：平成26年6月21日 13：00～14：00

お泊り会「見学会」播磨町デイサービスセンター

3、次回開催日の調整

平成26年7月16日（水）10：00～12：00

場所：地域連携交流施設